

第2期養老町スポーツ推進計画

2024年度～2028年度

養老町教育委員会事務局 生涯学習課

も く じ

第1章 計画の概要	1
第2章 第2期計画の策定にあたって	2
1 第2期計画策定の趣旨・ポイント.....	2
2 本計画の位置づけ.....	2
3 本計画の期間.....	3
第3章 プランの目標とスポーツ推進計画の施策と方向性	3
1 基本理念.....	3
2 養老町スポーツ推進計画の重点項目とその達成目標.....	4
3 第1期計画での数値目標に対する評価と第2期計画の指標.....	4
1. 数値目標.....	5
2. 評価指標.....	5
第4章 第2期施策のための具体的方針	6
養老町のスポーツ推進計画の方向性.....	6
重点1 スポーツ好きな子を増やそう.....	6
重点2 ちょこっとスポーツを目指そう.....	7
重点3 みんなでスポーツ楽しもう.....	8
重点4 体カテストにチャレンジしよう.....	8
重点5 目指せ！養老町から全国へ.....	9
第5章 第1期計画への評価と第2期計画施策内容	10
プランの基本体系.....	10
1 誰もがスポーツに親しめるまち	11
1. ライフステージに合わせたスポーツ活動の推進.....	11
2. 身近な地域におけるスポーツ活動の推進.....	12
3. 競技力の向上.....	13
4. 少年スポーツの振興.....	13
2 スポーツでつながるまち	15
1. スポーツクラブ・団体との協働.....	15
2. 指導者・リーダー・ボランティアの育成.....	15
3. スポーツ活動に関する情報提供の拡充.....	16
4. スポーツ施設の整備.....	17
3 スポーツで元気になるまち	18
1. スポーツ活動の普及啓発.....	18
2. スポーツによるまちづくり.....	19
第6章 統計資料	20
(1)スポーツ活動の状況.....	20
(2)大会等への参加・表彰の状況.....	25
(3)スポーツ施設の利用状況.....	26
第7章 その他	27
1 推進体制.....	27

第1章 計画の概要

計画が目指す将来像

1 町民1 スポーツのまち・養老

- ・養老町に住むすべての人が自分に合ったスポーツに親しみ、身体的・精神的に健康で健全に過ごすことができるまちを目指します。

将来像を実現するために実施する主な事業

- ・レクリエーションスポーツのイベント企画
- ・バルシューレ教室の普及
- ・地域運動教室によるライフステージ別のスポーツ推進
- ・ウォーキング（地域コース・観光コース）の活用
- ・スポーツ少年団や地域スポーツクラブへの加入促進
- ・町のスポーツ活動を推進するリーダー・指導者の育成

将来像を実現するため、このような事業を計画的に進めていきます。

スポーツをすることで…

① 生活を豊かに！

養老町に住む人は、QOL(※1)が全国平均を下回っていますが、週1回以上スポーツをしている養老町民は、QOLが全国平均を上回ることがわかりました。

スポーツに親しむことで、人生を豊かにすごせると考えられます。

② 健康増進！

高齢者の増加により、介護費・医療費が増大していますが、スポーツをしている人の健康度は高いことがわかりました。

町民が健康に暮らすためにもスポーツを推進していきます。

③ 生きがいつくり

子どもの頃からスポーツが好きな人は、大人になってもスポーツを継続的に行っている傾向があります。

生涯にわたる趣味としてスポーツを続けられるよう推進します。

※1 QOL：クオリティ・オブ・ライフ（quality of life）の略。物理的・精神的な一人ひとりの“生活の質”を表した概念。

第2章 第2期計画の策定にあたって

1 第2期計画策定の趣旨・ポイント

平成26年3月に、誰もがスポーツに親しむことができる生涯スポーツの推進を図ることを目的として「養老町スポーツ推進計画」が策定されてから10年が経ちました。この間、令和2年4月に一度改訂を行いました。その後数年にわたって世界的にまん延した新型コロナウイルス感染症の影響により、養老町においてもスポーツを取り巻く環境は大きく変化せざるをえませんでした。

こうした変化に加え、第2期計画では社会の中にAIやIoT※2などの技術革新が浸透してきたことによる生活様式の変化や、スポーツに対する人々の意識の変化など社会情勢の変化を踏まえたものにする必要があります。

日常生活の中で身体を動かす機会が減ったこと、運動不足による体力や運動能力の低下、生活習慣病の増加などの社会的な問題は、養老町においても極めて身近な問題です。これらの解決のためにもスポーツ人口を増やすことは重要な課題であり、町民のQOL増加の上でも大切な取り組みとなります。

第2期計画においては、前計画の成果と課題を評価しつつ、これまでの取り組みをさらに深化、あるいは整理するなどして、町民がスポーツに親しむべく今後5年間の計画を策定しました。

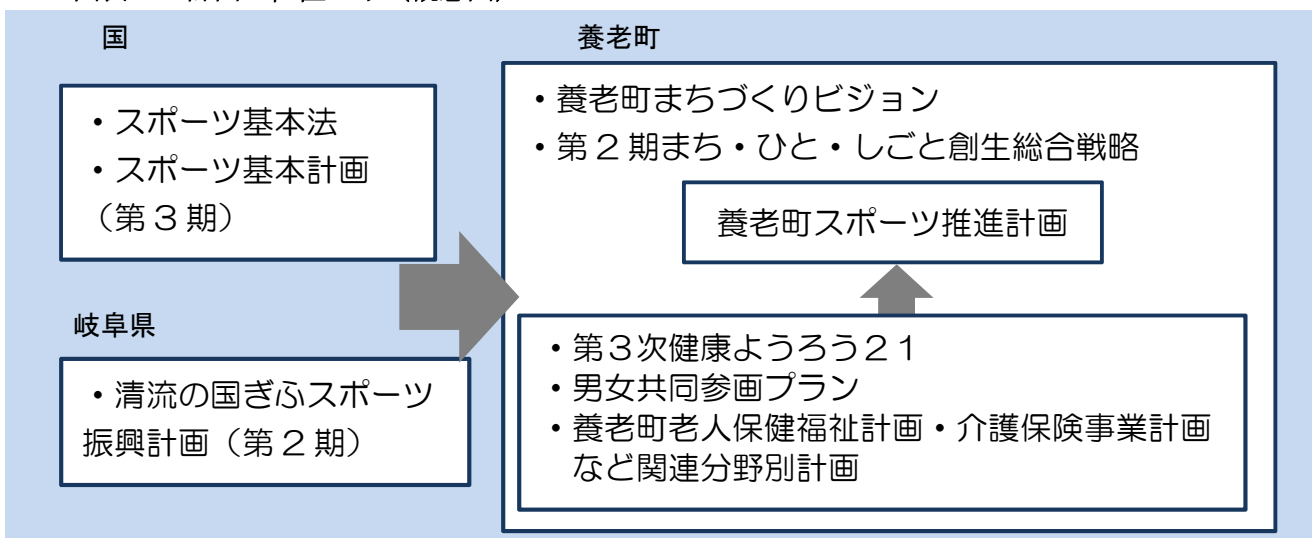
※2 IoT(アイオーティー) : Internet of Things あらゆる「モノ」がインターネットでつながること。生活の中にインターネットを組み込むことで利便性が向上すると期待されています。

2 本計画の位置づけ

本計画は、国の「第3期スポーツ基本計画」および岐阜県の「第2期 清流の国ぎふスポーツ振興計画」の趣旨や方向性を踏まえ、策定しています。

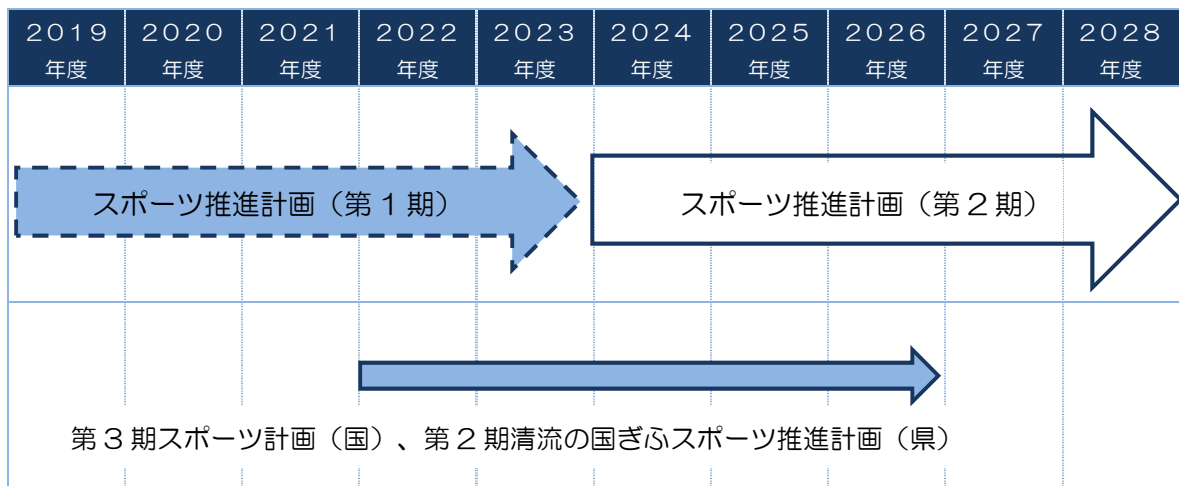
また、本計画の上位計画である「養老町まちづくりビジョン」の方針に基づくものとし、分野別計画との整合性を図っています。

図表 1 計画の位置づけ (概念図)



3 本計画の期間

本計画は、令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間に取組むべき施策を定めたものです。



<本計画におけるスポーツとは>

- ◆ 一般的なスポーツはもちろん、日常生活以上に『楽しく』『自発的に』身体を動かすことを含む広い意味での身体動作
(例) 朝ラジオ体操をする、隙間時間に散歩、ながらエクササイズ……など

第3章 プランの目標とスポーツ推進計画の施策と方向性

1 基本理念

本町では、昭和62年に「スポーツの町の宣言」を行い、すべての町民がスポーツを親しむことで、心身ともに健康で、地域とのつながりを深めることができるよう取組を行ってきました。

スポーツの町の宣言に掲げた内容を実現していくためには、町民一人ひとりが自分にあったスポーツを選択し、継続的に親しむことを町として支援していくことが求められます。

そこで、本計画が目指す目標（基本理念）を以下のとおりに定め、これを実現すべくスポーツ振興に関する取組を全庁的に総合的・計画的に進めていきます。

【基本理念】

1 町民1スポーツのまち・養老

2 養老町スポーツ推進計画の重点項目とその達成目標

①週1回以上スポーツを行う (現状値)27.3% → (目標値)40%

②QOLの改善(EQ-5D-5Lにおける数値目標)※3

	1.0の割合※4		平均値	
	現状値(%)	目標値(%)	現状値	目標値
40歳代以下	16.5	40	0.923	0.95
50歳代・60歳代	11.8	30	0.863	0.90
70歳代以上	5.5	20	0.830	0.80

※3 養老町スポーツに関するアンケート(令和5年)による

※4 EQ-5D-5LはQOL値を算出するための質問で、数値1.0は完全な健康状態を表します。

③ロコモを予防する

(1)ロコモ非該当者の割合※5	男性		女性	
	現状値(%)	目標値(%)	現状値(%)	目標値(%)
50歳代	75.7	90	83.9	90
60歳代	74.4	80	72.9	80
70歳代	57.1	70	53.9	70

※5 男女別各年代の(0～2点)件数/男女別各年代合計数

	現状値	目標値
(2)体力テスト参加者を増やす※6	年1回/16人	(参加率)40%
(3)子どもロコモの割合を減らす(小・中学校)	—	30%未満

※6 地域のイベントで簡単な体力テストを併せて行っていく。

④バルシューレとスポーツパーソンのこころを普及する 小学校でのバルシューレ教室開催

	現状値	目標値
⑤スポーツが好き、またはスポーツをする子どもを増やす※7		
(1)スポーツが好き	87.5%	95%
(2)毎日外に出て身体を動かしている	68.5%	85%
⑥スポーツ少年団への加入を促進する(加入率)	18.9%	35.0%
⑦スポーツリーダー(指導者)を増やす		
(1)リーダーバンク登録者数	58人	70人
(2)部活指導者を増やす	29人	40人
⑧スポーツの日の推進(参加率) 毎月第3日曜日をスポーツの日とし、地域・家庭などで健康やスポーツについて行動をおこす。	—	50%

※7 養老町学校保健会小中学校体育部会データ(令和6年1月)による

3 第1期計画での数値目標に対する評価と第2期計画の指標

本計画では数値目標と評価指標を定めています。これは、計画が順調に進捗しているかを把握し、計画の成果を客観的に判断するために定めるものです。

1. 数値目標

数値目標は、「どのような事業をどれくらい実施するか」を定めたものです。数値目標の達成状況を精査することにより、進捗が進んでいる事業、遅れている事業を明確にし、課題把握・改善につなげます。

項目	平成30年度 現状値	令和5年度 現状値/目標値	令和10年度 目標値
ウォーキング催事の開催数	年2回	年3回/年3回	年5回
バルシューレ指導者数	35人	38人/40人	45人
障がい者向けスポーツ教室	未実施	未実施/年3回	年3回
体力測定・ロコモ検査回数	年4回	年1回/年5回	年5回
ウォーキングコース設置数	2コース	11コース	11コース
〃 利用率		11.2%	30%
スポーツタウン WALKER 登録者数	—	245人	600人
リーダーバンク登録者数	38人	58人/50人	70人
スポーツサークル・教室数	22団体	21団体/25団体	25団体

2. 評価指標

評価指標は、「事業を実施した結果、どのような成果があったのか」を判断するためのものです。計画の柱ごとに評価指標を設定し、これの達成につなげることを目標として事業を進めていきます。

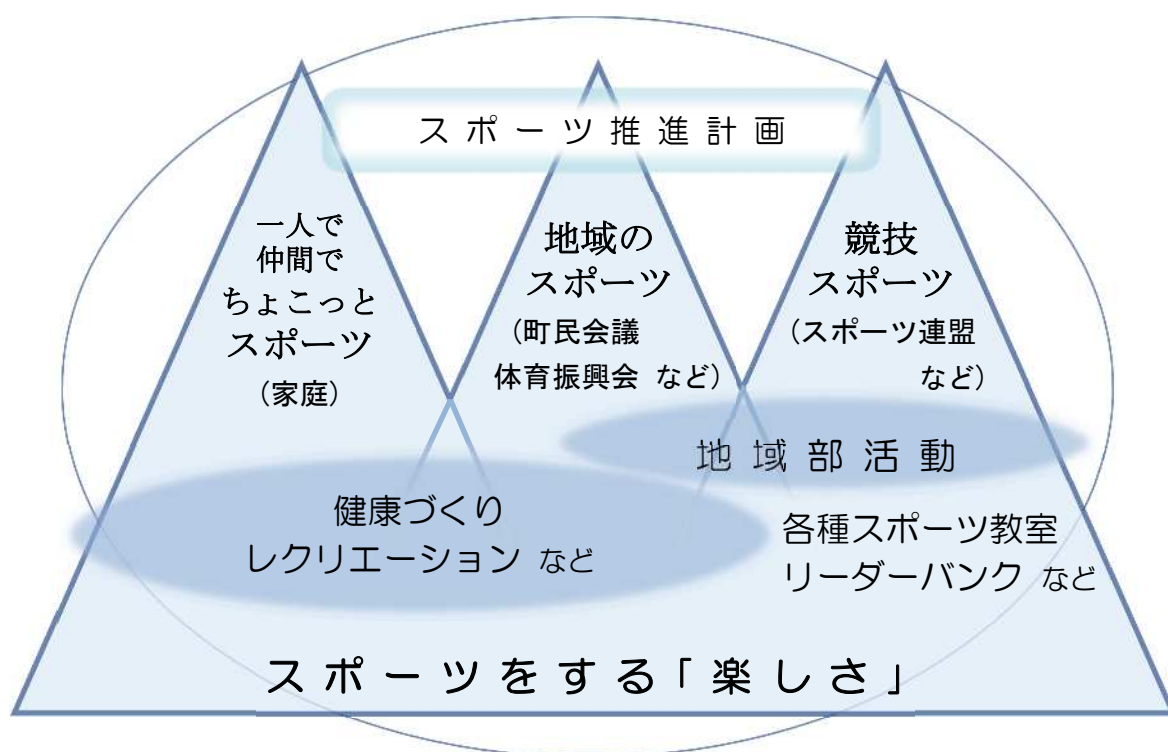
項目	平成30年度 現状値	令和5年度 現状値/目標値	令和10年度 目標値
1 誰もがスポーツに親しめるまち			
週1回以上スポーツを行っている人の割合	28.8%	27.3%/35.0%	40.0%
スポーツ少年団の加入率	29.6%	18.9%/35.0%	35.0%
2 スポーツでつながるまち			
スポーツイベントへの参加率	—	36.5%/—	50.0%
3 スポーツで元気になるまち			
“ロコモティブシンドローム”という言葉を知っている人の割合	55.0%	57.8%/80.0%	80.0%

養老町のスポーツ推進計画の方向性

養老町でも高齢化が進んでおり、65歳以上の高齢者人口の割合は35.9%と高い比率を占めています。また、令和5年9月に行った「養老町スポーツに関するアンケート」でも39.4%の人が「スポーツをしていないし、これからもするつもりはない」と回答しました。およそ4割の人がスポーツをする習慣をもたないという結果でした。

スポーツに関心がない方や、機会がなくてスポーツできないという方へのアプローチをするとともに、子どもたちにスポーツの楽しさを教えることで将来的なスポーツ人口の増加を目指します。

また、より専門的にスポーツを行いたい方への応援も行っていきます。



重点1 スポーツ好きな子を増やそう

子どものスポーツ活動の推進

アンケートによると、子どもの頃にスポーツが好きだった人はその後もスポーツを行う人が多いことがわかりました。子どもの頃からスポーツに取り組むことにより、子どもの心と身体の健全育成を図るとともにスポーツに対する親しみを育み、生涯にわたってスポーツを楽しめるよう、スポーツ少年団への加入促進や、中学校の休日部活動の地域移行などにより、子どもがスポーツをする環境を整え、スポーツ好きな子どもの増加を目指します。

①みんなでやろう、バルシューレ

小学校低学年での授業や遊びの中でバルシューレを積極的に行っていき、子どもたちにバルシューレと「スポーツパーソンのこころ」を普及していきます。

また、地域の運動教室でもバルシューレ講座を行います。

②地域や家庭でスポーツを

遊びの中からスポーツの楽しさを見つけられるよう、モルックなど家族みんなで楽しめる新しいレクリエーションスポーツを積極的に広めていきます。町では家族で参加できるスポーツイベントを応援します。

また、毎月第3日曜日を「スポーツの日」として、スポーツや健康に関するイベントを開催したり、地域や家庭でスポーツに参加することを推進していきます。

③スポ少加入率UPを目指して

スポーツ少年団って何をやるの？ どんな少年団があるの？

子どもの疑問に答えて、各学校とスポーツ少年団が、協力しながらスポーツに興味のある子がスポーツ少年団に加入できるよう支援します。

小学校でのスポーツ少年団の活動紹介、CCNetやチラシの配布で新規団員を呼び込み、加入率UPを目指します。

重点2 ちょっとスポーツを目指そう

身近な地域におけるライフステージにあったスポーツの啓発

身体的状況や生活状況による時間的制約、地理的状況など、人それぞれに様々な条件があるかと思いますが、身近な地域で安心してスポーツを楽しむことができる環境整備と、年齢などのライフステージにあわせたスポーツの推進を図ります。

④一歩から始める運動

近所のウォーキングコースを、気分転換をしながら歩きましょう。

小学校区別に設定したウォーキングコースの周知を図ります。手に取りやすいマップを作成して配布します。

⑤すきま時間にちょっと運動

忙しくてスポーツする暇がない！ そんな声が多くあります。忙しい中でも楽しく効率的に行える運動を紹介していきます。

一人でも自宅で簡単にできる運動メニューなどを、ホームページやSNSから積極的に発信します。

重点3 みんなでスポーツ楽しもう

高齢者やスポーツに関心が低い方への働きかけ

継続的に行う軽い運動は、生活習慣病の予防や身体機能の維持・増進のために効果があります。高齢者やスポーツ習慣のない人がスポーツに取り組むことで、健康増進となり、町民のQOL増加へとつながるよう働きかけていきます。

⑥スポーツライフの助けに

施設の空き状況がすぐ分かる予約システムを利用して、町内のスポーツ施設をどんどん利用しよう。施設の利用状況は登録なしでも確認できます。

⑦仲間と一緒に楽しむスポーツ

地域の人と一緒にスポーツを楽しみましょう。

地域自治町民会議の活動、地域のサロン、公民館活動など健康づくりも兼ねて仲間と一緒にスポーツをしましょう。

⑧イベントに参加しよう

地区で行う町民運動会、絆ウォーキング、バルシューレチャンピオンシップなど、気軽に参加できるイベントに集まりましょう。

町ではこういったスポーツイベントの開催支援を行います。

⑨第3日曜日を『スポーツの日』に

毎月第3日曜日は「家庭の日」ですが、家庭の日の過ごし方の一つとして、スポーツや健康について考える日にしてみてもどうでしょうか？

地域で簡単な体力測定を受けたり、家族でレクリエーションスポーツを楽しむなど、健康やスポーツに親しむ日にしましょう。

重点4 体力テストにチャレンジしよう

自分自身の健康データを知るきっかけに

養老町では、自分の健康に関心がある方が8割を超えています。そうした多くの方に簡単な体力測定ができる機会を提供し、健康づくりに役立ててもらえるようにします。

⑩体力テストに参加しよう

町や地域のイベントにあわせて、簡単な体力測定ができる機会を提供します。

各種団体と協力してイベントと同時に行うことで、町民が気軽に参加でき、自身の運動習慣を見直すきっかけになります。

⑪アプリを使って歩数をチェック

無料登録できるスマートフォンアプリを使って、毎日の歩数を測りませんか？

県が推奨している「スポーツタウン WALKER」を使えば県内・町内でのランキングも見られます。また、ポイントを貯めると特典も受けられます。

さらに、町では養老 pay と連携した「YORO 健康通帳」の運用を始めており、健康の見える化を目指しています。こちらはポイントを貯めることで、養老町の地域商品券との交換ができます。

重点5 目指せ！養老町から全国へ

競技力の向上を目指して

身近な地域でスポーツを行える環境が充実するよう、スポーツ少年団、中学校の休日部活動、スポーツクラブなどスポーツ関係団体の指導者の人材育成に向けて支援を行います。リーダーバンクを窓口にしてスポーツ連盟から指導者を派遣し、将来のスポーツ人口が増やしていきます。

また、スポーツ推進員や体育委員との連携強化を図り、住民のニーズに応じた企画が展開できるよう、人材の資質向上を図り、地域でのスポーツ振興をより一層推進します。

⑫養老町スポーツ大会

子どもからお年寄りまで、様々な競技を行う人たちが集まって、一つの大会を開きます。普段は別々に活動しているため交流することのない世代の人たちが一堂に会する機会となっています。

⑬スポーツリーダーを増やします

身近な地域でスポーツをやりたい！ もっとスポーツをしたい！

スポーツ少年団、中学校の休日部活動、スポーツクラブなど地域のスポーツを支えるスポーツリーダー（指導者）を増やすべく、資格取得の講習会、登録者への研修会などを定期的に行います。

⑭優秀者は表彰します

養老町とスポーツ連盟は毎年、優秀な成績を収めた選手の表彰をしています。広報などにも掲載し、広く町内にお知らせしています。

また、全国大会出場者に激励金の交付をしたり、インターハイ・国体などの出場選手の激励会を行っています。

第5章 第1期計画への評価と第2期計画施策内容

プランの基本体系

1 誰もがスポーツに親しめるまち

① ライフステージに合わせたスポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none">▪ 「絆ウォーキング」の開催▪ 多様なニーズに対応したスポーツイベントの実施▪ 三世代交流の充実
② 身近な地域におけるスポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none">▪ ウォーキングコースの活用▪ 町民運動会の開催支援▪ 校区単位での地域運動教室の開催
③ 競技力の向上	<ul style="list-style-type: none">▪ 養老町体育大会の実施
④ 少年スポーツの振興	<ul style="list-style-type: none">▪ スポーツ少年団への加入促進▪ 地域部活動の推進（休日部活動の地域移行）▪ バルシューレの普及促進

2 スポーツでつながるまち

① スポーツクラブ・団体との協働	<ul style="list-style-type: none">▪ （公財）養老町スポーツ連盟との協働推進▪ （一社）養老スポーツクラブとの協働推進
② 指導者・リーダー・ボランティアの育成	<ul style="list-style-type: none">▪ 体育委員の養成▪ スポーツ指導者の育成▪ 日独スポーツ交流派遣事業の充実
③ スポーツ活動に関する情報提供の拡充	<ul style="list-style-type: none">▪ スポーツ施設予約システムの利用促進▪ ホームページ・広報を通じたスポーツに関する情報提供
④ スポーツ施設の整備	<ul style="list-style-type: none">▪ 施設の計画的な維持・管理

3 スポーツで元気になるまち

① スポーツ活動の普及啓発	<ul style="list-style-type: none">▪ スポーツの日の推進▪ 新しいレクリエーションスポーツの検討▪ 定期的な体力測定の実施▪ 健康診断からの連携
② スポーツによるまちづくり	<ul style="list-style-type: none">▪ 観光ウォーキングコースの活用

1 誰もがスポーツに親しめるまち

1. ライフステージに合わせたスポーツ活動の推進

本町では、住民の誰もがスポーツに慣れ親しむことができるよう、ライフステージに合わせたスポーツ活動を推進します。

施策1	「絆ウォーキング」の開催
施策内容	子どもから高齢者まで、誰もが参加できる「絆ウォーキング」を開催し、幅広い世代が参加できるイベントにします。
1期計画の評価及び施策内容	毎年秋にウォーキング大会を開催し、多世代が参加するイベントとして定着しつつあります。今後も家族や友人同士での参加を呼びかけ、内容の充実、ノルディックウォーキングの普及、そしてさらなる参加者数の増加を目指します。 (参加者数) ・R5年度実績 129人 ・R10年度目標 200人

施策2	多様なニーズに対応したスポーツイベントの実施
施策内容	高齢でも参加しやすいスポーツイベントや、障がい者向けのスポーツ教室を実施するなど、福祉・健康部門と連携を図り、高齢者や障がい者一人ひとりに合った親しみやすい環境づくりに取り組みます。
1期計画の評価及び施策内容	骨盤メンテナンスやヨガなど、女性や高齢者などの多様な健康づくりのニーズに対応する教室を実施しています。 また、施設に車いすや多目的設置トイレを設置するなどして、誰もが利用しやすい施設の環境整備を進めていきます。

施策3	三世代交流の充実
施策内容	祖父母・父母・子どもの三世代が交流できることを考慮した施策やイベントを考案し、充実していきます。

1 期計画の評価 及び施策内容	町民運動会や地域の健康教室で、三世代の交流の場をもちました。今後は、軽スポーツやレクリエーションを取り入れた地域行事を啓発し、これまでの取組の充実と活発な交流を目指します。
--------------------	--

2. 身近な地域におけるスポーツ活動の推進

町民一人ひとりが、住み慣れた地域で幅広い世代の住民同士、スポーツ活動を行うことができる環境の整備に取り組めます。

施策1	ウォーキングコースの活用
施策内容	小学校区別に設定したウォーキングコースを利用し、誰もが身近な地域で運動を楽しむことができる環境づくりに取り組みます。
1 期計画の評価 及び施策内容	<p>各地区でウォーキングコースを設定しましたが、認知度が低く利用者が少ない現状です。</p> <p>今後は、住民の方へ周知しつつ体育振興会との連携も図って、その活用を進めていきます。</p> <p>(ウォーキングコースの利用率)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度実績 11.2% (R5 年度アンケート結果) ・R10年度目標 30.0%

施策2	町民運動会の開催支援
施策内容	地区別に行われる町民運動会の開催に係わる支援を実施し、地域住民が交流し、スポーツに触れ合う機会の確保に努めます。
1 期計画の評価 及び施策内容	ほとんどの地区で町民運動会が開催され、多数の団体や住民の参加があります。競技種目も多岐に渡り、住民が気軽にスポーツに触れ合う機会となっています。今後も体育振興会やスポーツ推進委員を通じて支援を継続します。

施策3	校区単位での地域運動教室の開催
施策内容	小学校体育館を中心に活動する「地域スポーツクラブ」の校区単位での設置を目指しますが、その前段階として各地区に運動教室を置く「地域運動教室」の開催を進めます。
1期計画の評価及び施策内容	<p>「地域スポーツクラブ」では、地域自治町民会議等での地域協働が必要となってきますが、自主運営を行える状況に至っていません。まずは、地域スポーツクラブの創設までの期間、各地域に運動教室を置き、地域でのスポーツ振興を推進します。</p> <p>今後も各地区にて同様の取り組みを行うために、指導者の資質向上を図り、各地区で町民が気軽にスポーツを行える場を提供します。</p> <p>(地域運動教室数) ・R5年度実績 5地区 ・R10年度目標 7地区</p>

3. 競技力の向上

本町では、(公財)養老町スポーツ連盟と綿密に連携し、町の競技スポーツの振興に資する施策を実施します。

※(公財)公益財団法人の略称

施策1	養老町体育大会の実施
施策内容	養老町スポーツ連盟主催のもと、種目団体別に毎年開催し、町内のスポーツレベル向上につなげます。
1期計画の評価及び施策内容	西濃大会および県大会へ出場する団員の成績向上を目的とし、種目団体別に毎年開催しています。今後も養老町スポーツ連盟と連携を図り、事業を継続していきます。

4. 少年スポーツの振興

子どもの頃からスポーツに親しむことができる環境を整備することで、心身の健全育成を促し、将来的なスポーツ人口の増加を図ります。

施策1	スポーツ少年団への加入促進
------------	----------------------

施策内容	令和6年度にスポーツ少年団は創立60周年を迎え、一層のPRを行うなど、加入への働きかけを行い、加入者増加を図ります。
1期計画の評価及び施策内容	<p>小学校でスポーツ少年団の活動を紹介する場を設けたり、中学校部活と連携したりするなどして、入団のきっかけづくりを行います。</p> <p>また、CCNetなどマスメディアを活用した新団員の募集及び単位団ごとのPR動画の作成、団員の体験記を掲載した広報誌の発刊など、広報活動にも力を入れていきます。</p> <p>(スポ少加入率)・R5年度実績 18.9% ・R10年度目標 35.0%</p>

施策2	地域部活動の推進（休日部活動の地域移行の推進）
施策内容	中学校の運動部活動において、専門的な技能を有する社会人指導者を派遣し、部活動のスポーツレベル向上を図るとともに、休日も部活動が行える環境を整えます。
1期計画の評価及び施策内容	<p>一部で部活動支援員を配置していますが、まだ十分ではありません。休日部活動の地域移行を進めるために、リーダーバンク登録を推進し、部活動指導者の研修、社会人指導者の派遣を行い、事業の充実を図ります。</p> <p>(部活動参加率)・R5年度実績 82.4% ・R10年度目標 90.0%</p>

施策3	バルシューレの普及促進
施策内容	大学等の外部機関と連携し、ボールを活用した効果的な運動プログラムである“バルシューレ”の普及を図ります。
1期計画の評価及び施策内容	<p>平成31年度よりバルシューレの普及を図ってきましたが、認知度や活動機会は、未だ低いと考えます。</p> <p>今後は、小学校や地区での運動教室を中心に、運動の初等教育段階での活用、ゲームとしての普及、バルシューレチャンピオンシップなどイベントの実施に取り組みます。</p>

2 スポーツでつながるまち

1. スポーツクラブ・団体との協働

(公財) 養老町スポーツ連盟を中心とした様々なスポーツクラブ等との連携体制を整備します。また、スポーツクラブ等への活動支援を実施し、スポーツ活動の振興を図ります。

施策1	「(公財) 養老町スポーツ連盟」との協働推進
施策内容	本町のスポーツ活動の中心を担う「(公財) 養老町スポーツ連盟」と連携し、協働してスポーツ振興を図る体制を整えます。
1期計画の評価及び施策内容	協働での推進についてはまだまだ不十分であり、リーダーバンク制度を活用した講師の派遣やバルシューレの資格講習会の開催等を委託するなどして、今後より一層、協働での養老町のスポーツ振興を図っていきます。

施策2	「(一社) 養老スポーツクラブ」との協働推進
施策内容	養老スポーツクラブが企画・運営する教室の充実を図り、サークルの創設を促すため、町民自らが健康づくりを推進する自主的な活動につながる支援や援助を充実します。
1期計画の評価及び施策内容	現在、地域スポーツクラブの教室として、合計11の教室を開催しています。月に2、3回程度活動しており様々な年齢の方々が、気軽にスポーツを楽しんでいます。今後も町民が自主的に運動できる機会を提供していきます。

※ (一社) 一般社団法人の略称

2. 指導者・リーダー・ボランティアの育成

町のスポーツ活動を充実するための指導者やリーダー、ボランティアの育成を図ります。

施策1	体育委員の養成
施策内容	スポーツ推進委員による指導者養成講習会などを開催し、地域で活動する体育委員の指導力向上をめざします。

<p>1 期計画の評価 及び施策内容</p>	<p>コロナ禍にイベントが中止されたことにより、体育委員の経験が不足しました。今後は講習会などを通じ、体育委員自らが実践することで、それぞれの地域でのレクリエーションの普及と委員の指導力向上を目指します。</p> <p>体育委員の方々と協力し、各レクリエーションへの理解を深めるとともに、地域でのスポーツ振興をより一層推進していきます。</p>
----------------------------	--

<p>施策2</p>	<p>スポーツ指導者の育成</p>
<p>施策内容</p>	<p>スポーツイベントへの参加と指導が可能な人材の登録制度（リーダーバンク）を活用し、地域のスポーツを“支える”人材育成を図ります。</p> <p>また、指導者の連携体制を確立し、効率的なスポーツ振興・競技力向上を図ります。</p>
<p>1 期計画の評価 及び施策内容</p>	<p>スポーツ少年団指導者や休日部活動の地域移行に向けた部活動指導者への研修会を実施します。</p> <p>今後も研修内容の充実を図り、指導者の養成・育成に努めていきます。</p>

<p>施策3</p>	<p>日独スポーツ交流派遣事業の充実</p>
<p>施策内容</p>	<p>将来の養老町を担うスポーツ指導者になりうる青少年に国際感覚を養ってもらうことを目的として、ドイツとの交流事業を実施します。</p>
<p>1 期計画の評価 及び施策内容</p>	<p>コロナ禍において相互交流による行き来が途絶えている中で、オンラインによる団員同士の交流は続けていました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類となり、日独交流の再開を検討しています。スポーツ交流を通じて異文化理解とスポーツを通じた親交を図ります。</p>

3. スポーツ活動に関する情報提供の拡充

様々なニーズに対応できるように内容を整理し、広報やホームページなどの媒体を活用して情報を提供します。

施策1	スポーツ施設予約システムの利用促進
施策内容	体育施設の空き状況確認や予約ができるシステムを導入していますが、これの認知度を高め、町民に利用方法等をより一層周知します。
1期計画の評価及び施策内容	町内にあるスポーツ施設のうち、学校開放を除く施設では予約システムを利用することができますが、利用率は3割ほどとなっています。スポーツを行う上で必要となる施設利用の申請を簡易化するとともに、普段スポーツ施設を利用しない層への周知を行い、施設の利用につなげます。

施策2	ホームページ・広報を通じたスポーツに関する情報提供
施策内容	町の広報誌「広報よろう」に、スポーツ活動やイベントに関する情報を掲載し、住民への情報提供を行います。また同時に、町のホームページ上でもスポーツ活動に関する情報を掲載します。
1期計画の評価及び施策内容	「広報よろう」および町のホームページにて、スポーツに関する教室やイベント情報、スポーツ活動に関する情報を随時更新しています。 また、SNSを利用し若年層が気軽にスポーツの情報を取得できるよう、Instagramでの発信も積極的に行っています。 今後も、すべての年代がそれぞれのツールで情報を取得できるように、様々な媒体を用いて情報提供を行います。

4. スポーツ施設の整備

住民のニーズと町の財政状況を総合的に勘案し、計画的に整備拡充を進め、スポーツ施設の利便性向上を図ります。

施策1	施設の計画的な維持・管理
施策内容	住民が安心してスポーツを楽しむことができるように、町のスポーツ施設の維持・管理を行います。

**1 期計画の評価
及び施策内容**

施設の保守点検を実施し、予防的な修繕に取り組んでいます。中央公園野球場の整備等、老朽化が進んでいる体育施設を計画的に整備します。

3 スポーツで元気になるまち

1. スポーツ活動の普及啓発

スポーツ活動が、住民の健康づくりや仲間づくりにつながることなどのメリットがあることを理解してもらい、スポーツ活動への意欲の向上を図ります。

施策1	スポーツの日の推進（新規）
施策内容	健康づくりや仲間づくりにスポーツが欠かせないことを住民に理解してもらうことを目的として、スポーツの日を推進していきます。家庭や地域の中でスポーツに関する意識啓発・意欲向上を図ります。 月に1回スポーツや健康づくりに取り組む日を作り、啓発していきます。出前講座をはじめ教室やイベントの際には情報発信を行い、町民の健康意識を高める情報提供を実施していきます。

施策2	新しいレクリエーションスポーツの検討
施策内容	様々な世代の幅広いニーズに対応したスポーツが実施できるよう、関係機関や団体、町民等の意見を伺いながら、町で推進する新しいレクリエーションスポーツを検討していきます。
1 期計画の評価 及び施策内容	スポーツ推進委員や体育委員の指導により軽スポーツの普及に努めていきます。 県や近隣市町とも連携しながら、モルックをはじめとする町民のニーズに合わせた軽スポーツの発掘、普及を進めます。

施策3	定期的な体力測定の実施
施策内容	町民のスポーツ活動を通じた健康づくりへの意識を高めるため、住民の定期的な体力測定の実施方法を検討します。体力測定は、自治区に協力依頼を行うことでモデル地区を選定し、実施していきます。
1期計画の評価及び施策内容	町イベントや出前講座、体育振興会による事業の時に簡単な体力測定を実施しています。今後も各種団体と協力し、定期的な体力測定を実施することで自身の運動習慣をみつめる機会を提供します。

施策4	健康診断からの連携（新規）
施策内容	健康に関心が高まる機会をスポーツ活動へつなげるべく、保健担当部署と連携して、健康診断などの時に運動教室などへの参加を案内していきます。

2. スポーツによるまちづくり

スポーツによって地域の活性化を行い、住民の健康と活力のあるまちづくりを図ります。

施策1	観光ウォーキングコースの活用
施策内容	<p>養老公園周辺を観光できる観光ウォーキングコースの周知を図り、より使いやすいマップにしていきます。</p> <p>観光客と地域住民が観光ウォーキングを通して親交を深めることができる環境整備を図ります。</p>
1期計画の評価及び施策内容	<p>養老駅から養老の滝まで養老公園周辺を観光できるコースを設定し、観光ウォーキングコースとして環境整備を実施しました。</p> <p>今後はこの観光コースの周知を図り、イベントなどで用いるなど有効に活用していきます。</p>

第6章 統計資料

(1) スポーツ活動の状況

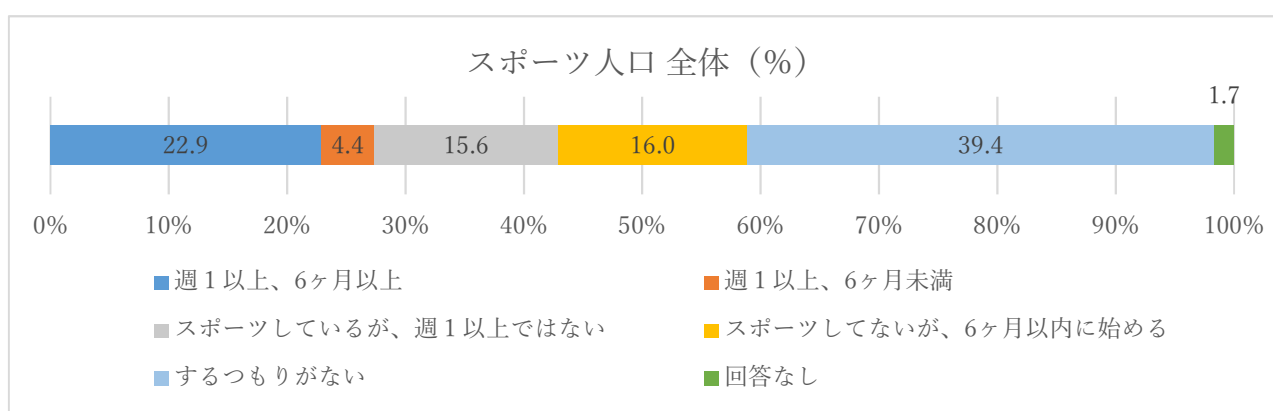
・スポーツ人口

本町における週1回以上スポーツをしている人の割合は（図表1-1）27.3%、週1回以上ではないがスポーツをしている人を含めると42.9%になります。

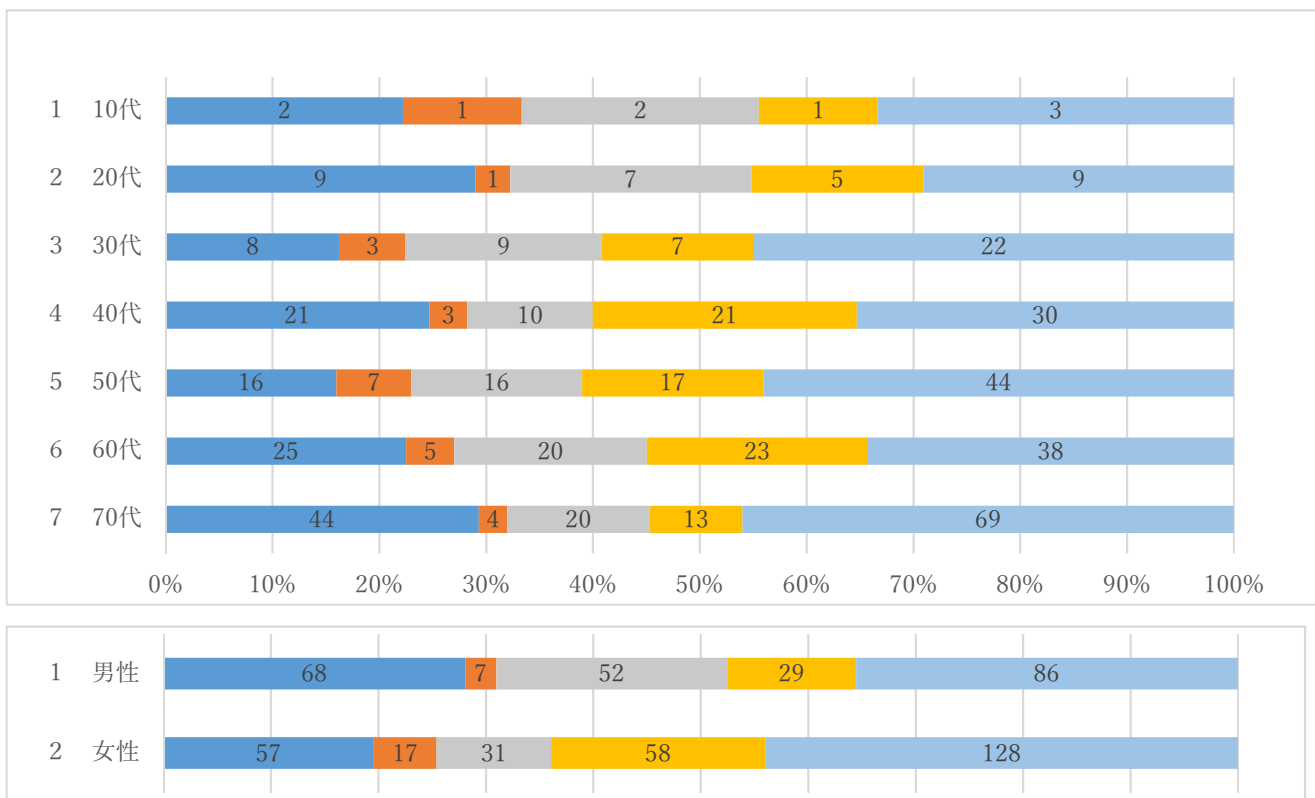
一方で6か月以内に始めようと思っている人は16%、スポーツをしていないし、するつもりがないと回答した人は39.4%という結果でした。

男女別、地域別のスポーツ人口は以下の図表1-2、1-3の通りです。

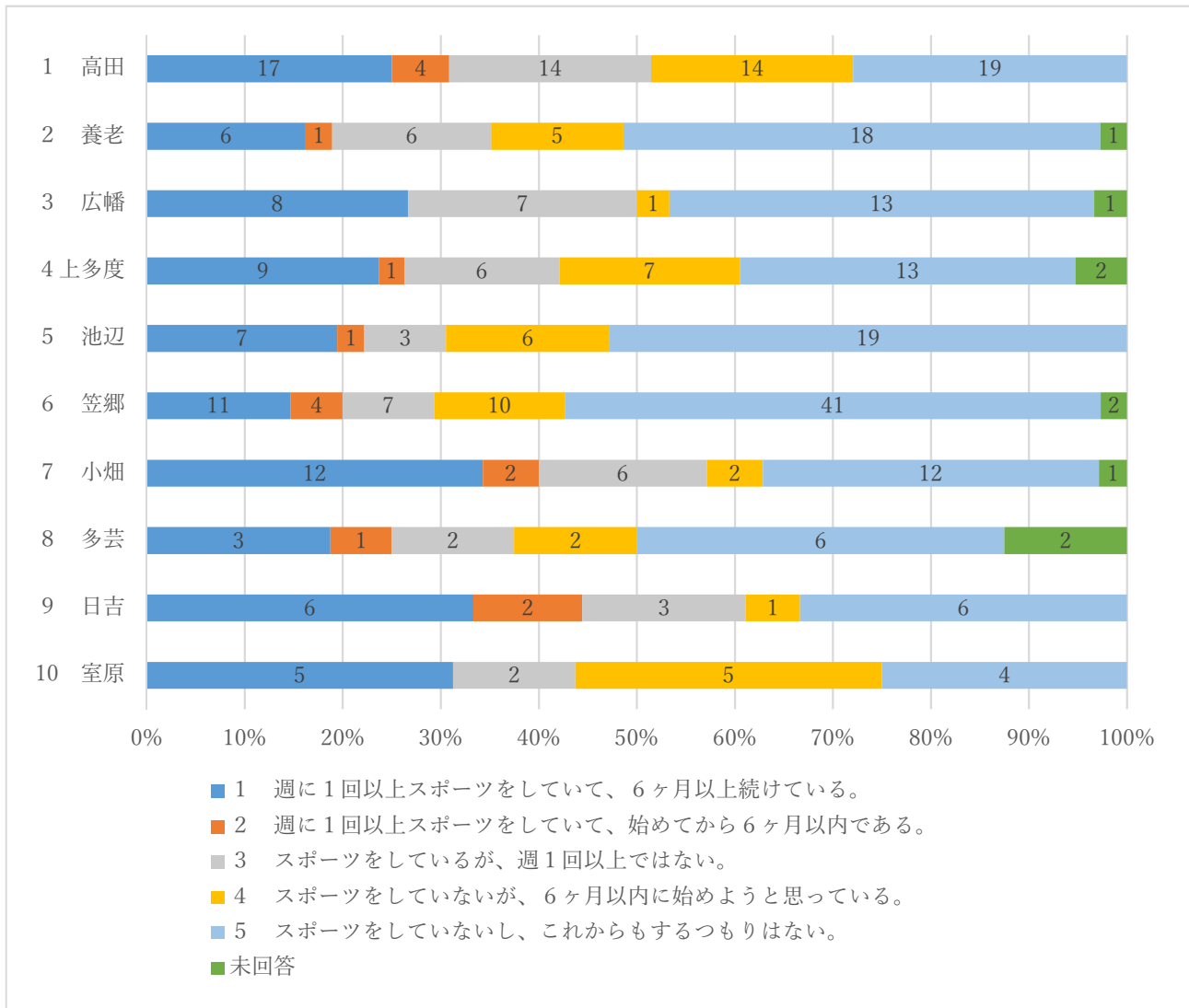
○図表1-1 スポーツ人口（全体） 回答件数545件



○図表1-2 スポーツ人口（年代別/男女別）



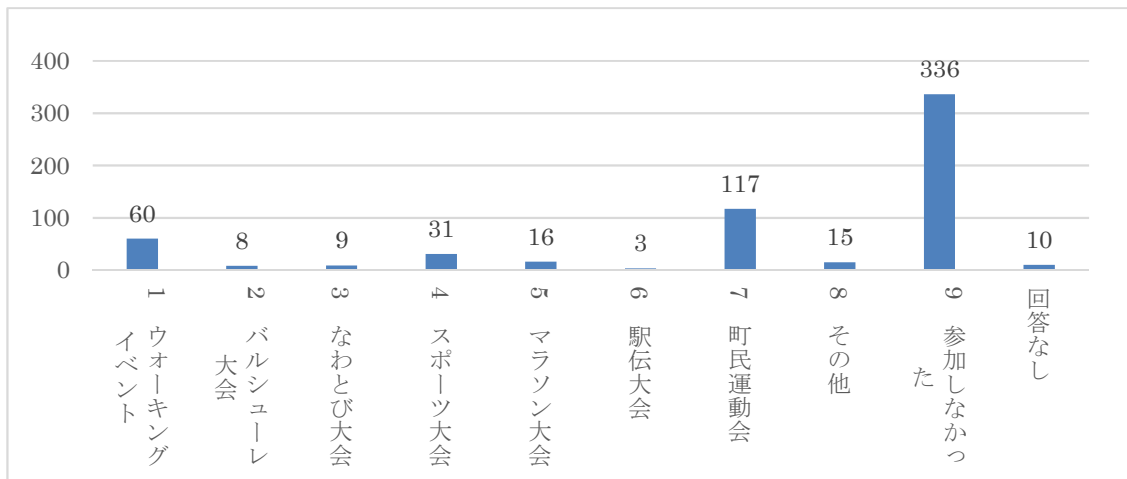
○図表 1-3 スポーツ人口（地域別）



・スポーツイベントへの参加状況

本町においてスポーツイベントへの参加状況は（図表2）「参加しなかった」が最も高く（61.6%）、参加者が多かったスポーツイベントは「町民運動会」で21.5%の人が参加しました。

○図表 2 地域のスポーツ大会や運動会等への参加状況※ 複数回答 605 件

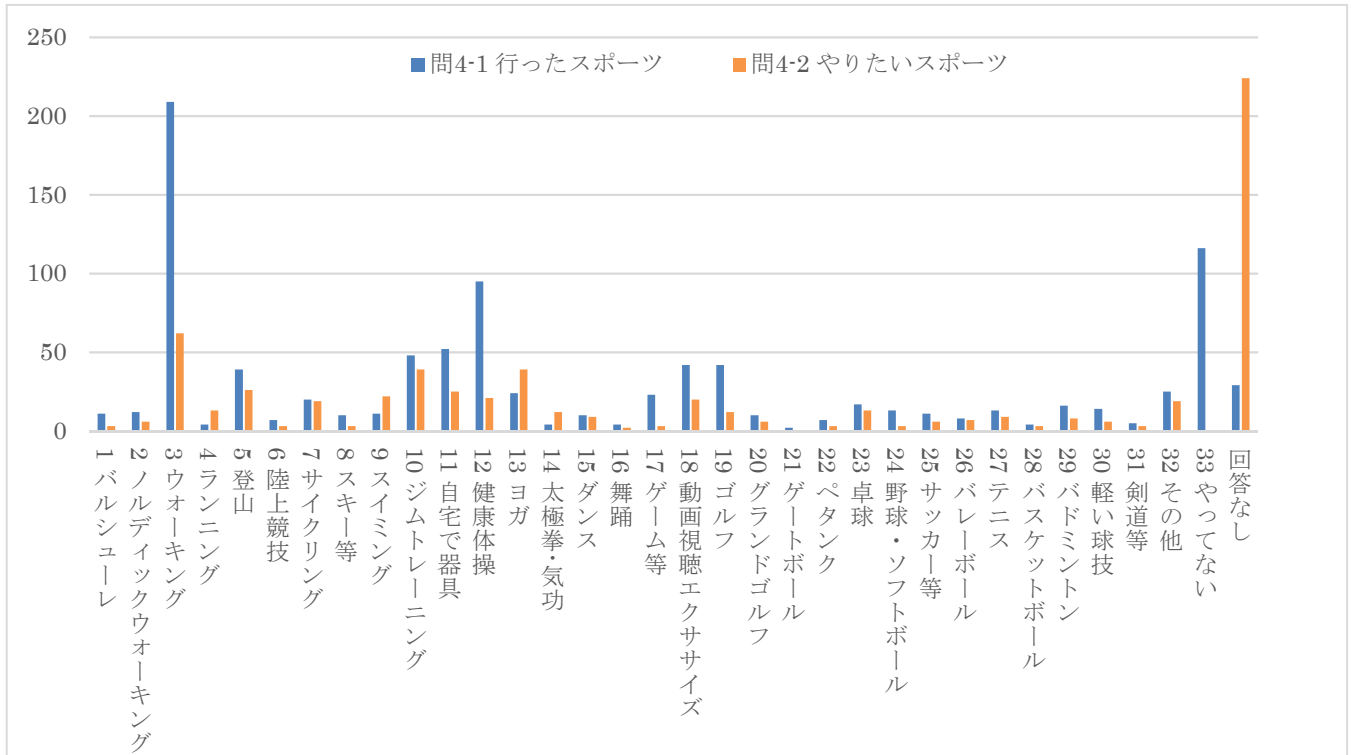


・スポーツ活動の実態と意識

本町においてこの1年間に行ったスポーツの上位4項目（図表3）は、①ウォーキング 209件 38.3%、②健康体操 95件 17.4%、③動画視聴エクササイズ・ゴルフ 42件 7.7% でした。

また、やってみたいスポーツ上位3項目は、①ウォーキング 62件 11.4%、②ジムトレーニング・ヨガ 39件 7.2% でした。

○図表3 1年間に行ったスポーツ 複数回答 957件 やってみたいスポーツ 複数回答 649件



スポーツを行う理由（図表4）として、ほとんどの方（84.2%）が「健康維持・体力づくり」と回答しており、2番目の理由が「ストレス解消」（89件 38.0%）となりました。

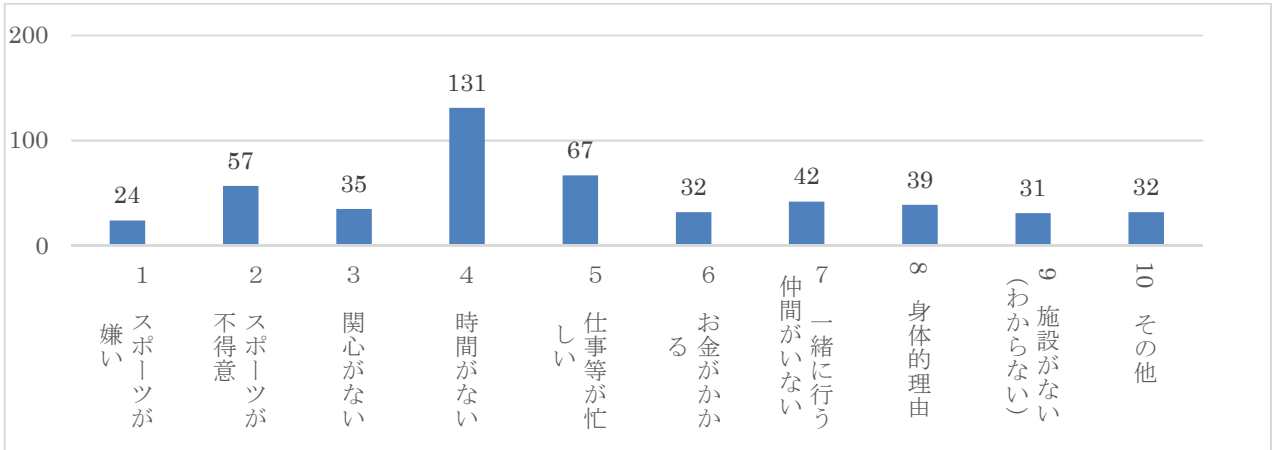
○図表4 スポーツを行う理由 複数回答 482件 （回答者数 233人/234人）



¹ 養老町スポーツに関するアンケート(令和5年)による

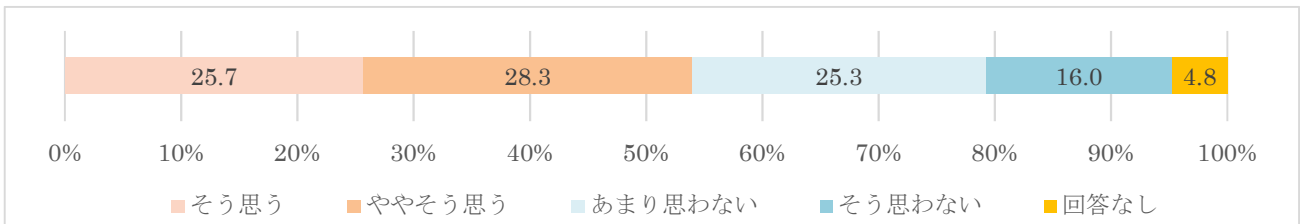
一方で、スポーツを行わない理由（図表5）の多くが「時間がない」（44.8%）で、次いで「仕事・育児・介護等が忙しい」（22.9%）となりました。

○図表5 スポーツを行わない理由 複数回答 490件（回答者数292人/302人）



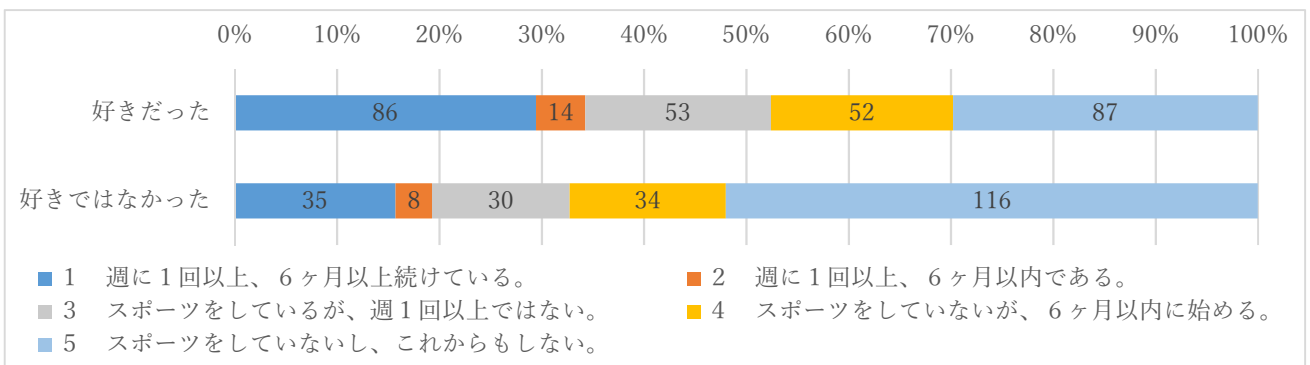
子どもの頃からスポーツが好きだった人は「そう思う、ややそう思う」で54%と半数強が好きだと回答しており、好きではない「あまりそう思わない、そう思わない」の41.3%を上回っています。

○図表6 子どもの頃からスポーツが好きだったか※ 回答者数545人



子どもの頃からスポーツが好きだった（「そう思う」「ややそう思う」）と回答している人は、現在でも週に1回以上スポーツをする人が多く、子どもの頃にあまりスポーツが好きではなかった（「そう思わない」「あまりそう思わない」）と回答している人は、スポーツをしていないし、これからはしないと回答した割合が多いようです。（図表7）

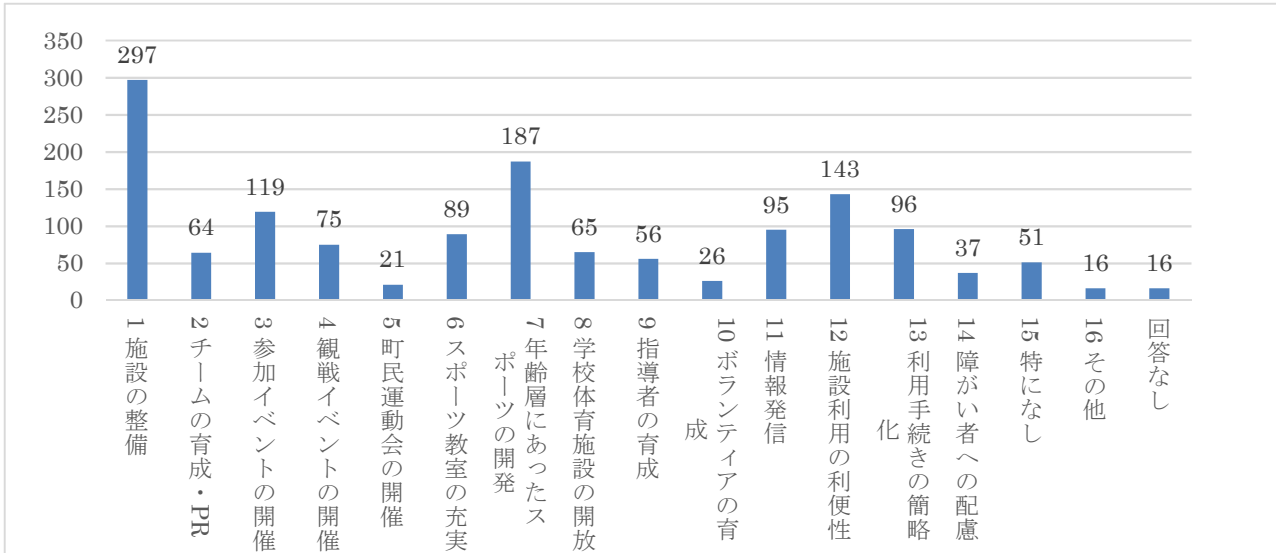
○図表7 子どもの頃からスポーツが好きだった/そうではない人のスポーツ実施状況（回答者数=515件）



・スポーツを推進するために、町が力を入れるべきこと

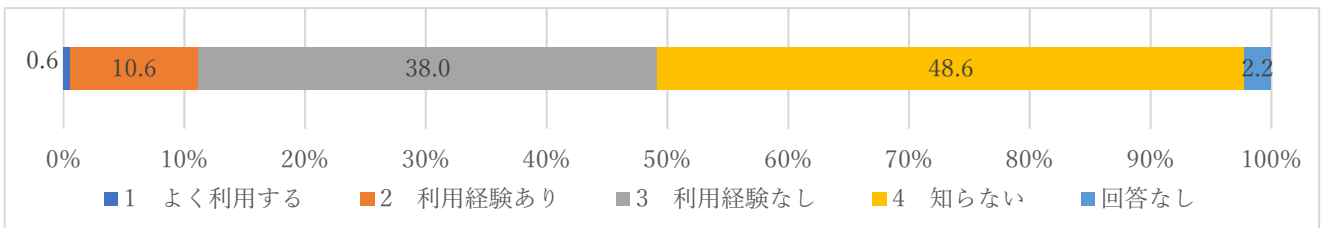
スポーツを推進するために町が力を入れるべきこと（図表8）で、最も多い回答は「施設の整備」（54.5%）でした。次いで「年齢層にあったスポーツの開発・普及」（34.3%）「施設利用の利便性の向上」（26.2%）という回答でした。

○図表8 スポーツを推進するために町が力を入れるべきこと 複数回答1,453件（回答者数545人）



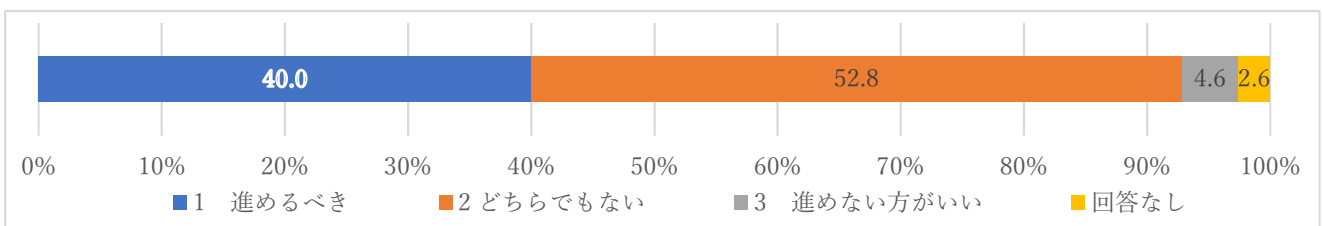
ウォーキングコースを利用したことがある人は11.2%（61件）と少なく、利用したことのない人が86.6%（472件）と大多数でした。（図表9）約半数がウォーキングコースを知らないという結果でした。

○図表9 ウォーキングコースの利用状況（回答者数=545件）



健康づくりやスポーツに取り組む日（スポーツの日）の啓発については、半数以上の52.8%の人は「どちらでもない」と回答していますが、4割の人が進めるべきと回答しており、「進めない方がいい」と回答した人は4.6%と少数でした。

○図表10 スポーツの日の啓発について（回答者数=545件）



(2) 大会等への参加・表彰の状況

・過去5年間の大会参加・表彰実績

過去5年間の国体等への大会参加は表彰の実績は以下のとおりです。（図表 10）令和2年度から3年度にかけて新型コロナウイルス感染症の影響で大会の中止が相次ぎ、大会参加者の数も減っています。それにより、表彰者の数も減少していました。

図表 11 過去5年間の大会参加・表彰実績

	31年度		2年度		3年度		4年度		5年度		
	大会名	種目	人数	種目	人数	種目	人数	種目	人数	種目	人数
各種大会出場者数	高校総体	ウエトリフティング	1	中止	陸上	1	体操	1	弓道	1	
		サッカー	1		ウエトリフティング	1	競泳	1	陸上	1	
		フェンシング	2		アーチェリー	1	水球	2	ヨット	1	
					フェンシング	1			ボクシング	1	
					体操	1			体操	4	
					水球	2			水球	1	
							野球	1			
	定通制大会	ソフトテニス	1	中止	ソフトテニス	1	ソフトテニス	1			
		バスケットボール	1								
	国体	フェンシング	1	中止	中止	陸上	1	水球	1		
		セーリング	1			馬術	2	ビーチバレー	1		
		ウエトリフティング	1			バレーボール	1	ボクシング	1		
		剣道	1					軟式野球	2		
						フェンシング	1				
合計		10		0		8		9		16	
表彰者数	町表彰	ソフトボール	1	スノーボード	2	空手	3	空手	3	弓道	1
		弓道	1	陸上	4	スノーボード	1	剣道	3	ゲートボール	2
		体操	1	サッカー	2	フェンシング	2	サッカー	1	剣道	1
		水球	3	ソフトテニス	1	陸上	6	スノーボード	1	柔道	2
		フットサル	2			水球	4	ソフトテニス	1	新体操	1
		バレーボール	3			ソフトテニス	1	ソフトボール	1	体操	4
		陸上	2			バレーボール	1	バレーボール	2	水球	2
		フェンシング	2			野球	6	フェンシング	2	ソフトテニス	1
		柔道	1			ゲートボール	1チーム	野球	2	ソフトボール	2
		ウエトリフティング	1			陸上	1チーム	陸上	6	軟式野球	2
		剣道	1					体操	1チーム	野球	1
										バスケットボール	3
										バレーボール	3
									ボクシング	1	
									陸上	6	
	スポ連表彰	ソフトテニス	2	グラウンドゴルフ	1	剣道	2	柔道	8	グラウンドゴルフ	1
		陸上	14	陸上	5	ソフトテニス	1	剣道	2	ソフトテニス	1
		柔道	11	軟式野球	1チーム	陸上	7	陸上	9	柔道	7
		グラウンドゴルフ	1			野球	6	フェンシング	2	陸上	6
		剣道	2			空手	2	ソフトテニス	2	バレーボール	3
		バレーボール	3			フェンシング	1	サッカー	1	水球	2
		軟式野球	1チーム			ゲートボール	1チーム	グラウンドゴルフ	2	ソフトボール	2
		剣道	1チーム			陸上	1チーム	体操	1チーム	体操	1
バレーボール		1チーム			軟式野球	2チーム	軟式野球	1チーム	バスケットボール	3	
									軟式野球	4	
								ゲートボール	2		
								バレーボール	1チーム		
								軟式野球	1チーム		
合計		54		15							
総合計		64		15		8		9		16	

(3) スポーツ施設の利用状況

・社会体育施設の利用状況

過去5年間の社会体育施設の利用状況については、以下のとおりです。(図表 11) 総合体育館に関しては、コロナ禍において施設の休館などがあり減少傾向でしたが、令和4年から徐々に回復傾向にあります。

図表 12 社会体育施設の利用状況※

社会体育施設	施設概要	競技面積 /㎡	利用件数				
			平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
総合体育館	体育室、卓球場、柔剣道場、トレーニング室、会議室、多目的広場	1,251	9,825	8,400	1,492	2,296	4,635
中央運動公園野球場	11,800㎡（夜間照明付） 芝生席500	11,800	61	50	40	30	77
スマイルグラウンド	10,500㎡（夜間照明付） 観客席400	10,500	89	50	47	51	108
笠郷テニスコート	全天候型砂入人工芝 5面 （夜間照明付）	3,419	826	433	520	519	682
牧田川青少年グラウンド	12,386㎡	14,410	119	114	113	63	106
東部町民体育館	—	839	335	237	156	261	312

・学校施設の利用状況（学校開放分）

過去5年間の学校施設利用状況（学校開放分）は以下のとおりです。(図表 12) 社会体育施設同様こちらも令和2年度からのコロナ禍において減少していましたが、令和4年度から回復傾向にあります。

図表 13 学校施設の利用状況（学校開放分）

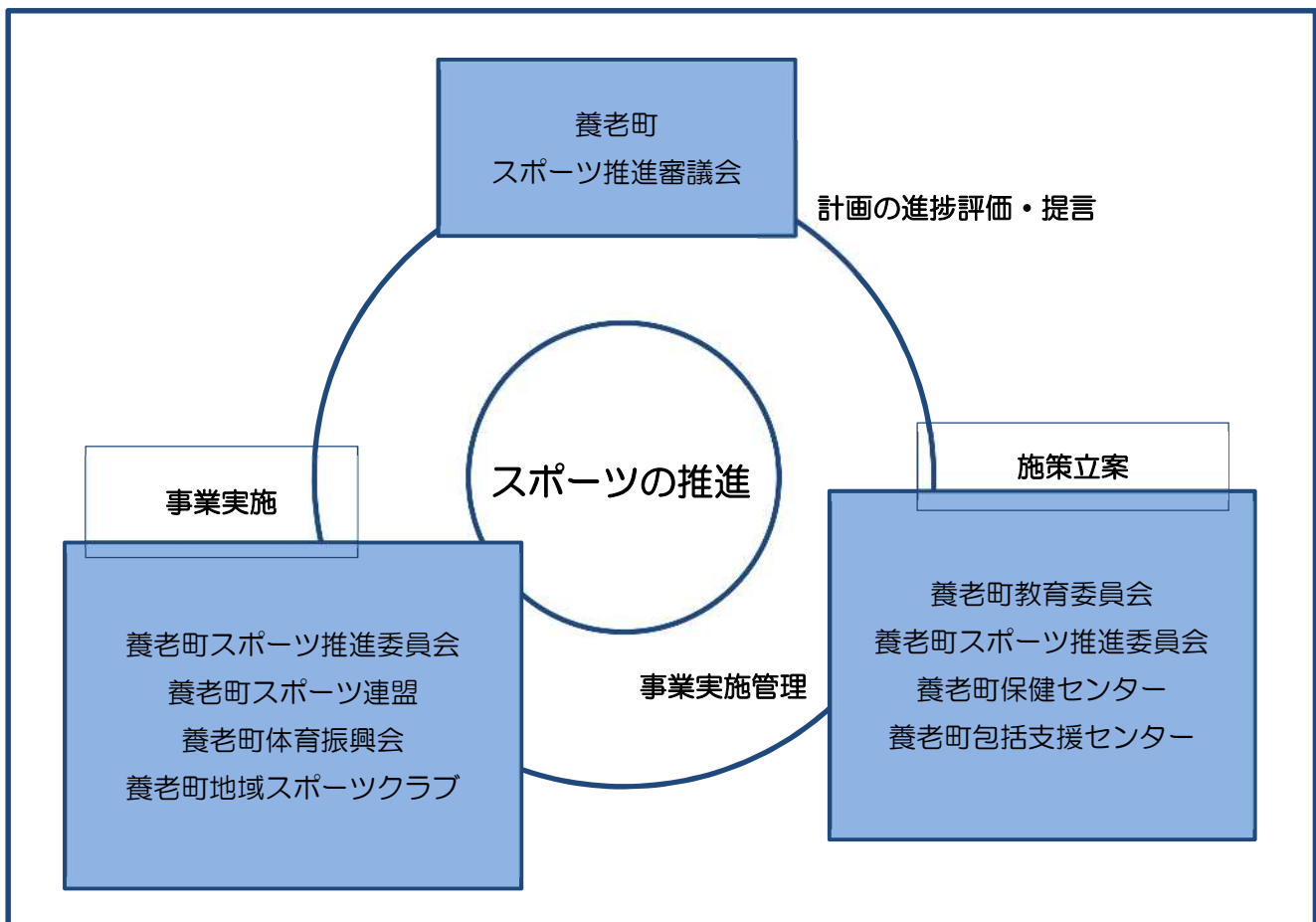
学校施設名称	利用件数				
	平成30年	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年
養老小体育館	485	462	192	132	272
広幡小体育館	416	342	198	213	313
上多度小体育館	157	159	110	132	183
池辺小体育館	309	254	155	168	204
笠郷小体育館	507	423	224	268	369
養北小体育館	326	308	193	216	274
日吉小体育館	353	263	152	181	257
高田中体育館	445	267	208	240	354
高田中格技場	352	342	114	159	185
東部中体育館	260	254	156	150	189
夜間照明グラウンド`池辺小	31	10	5	22	8
夜間照明グラウンド`日吉小	31	0	0	5	10
夜間照明グラウンド`東部中	45	52	46	56	77

第7章 その他

1 推進体制

計画の進行状況の点検と事業の推進を行うため、「養老町スポーツ推進審議会」を年に2回以上開催します。審議会では、各年度の数値目標の達成状況や事業の実施状況が、町民のニーズや地域の状況等に応じて適切かつ効果的に実現できているか点検し、情報の共有と意見交換を行います。

また、施策等の取組状況については町の広報やホームページで公表し、町民に幅広く情報提供していきます。



【養老町 スポーツの町の宣言】

私たち養老町民は、生涯にわたって一人ひとりの能力と特性に合わせて、進んでスポーツ活動に参加し、ここに「スポーツの町」を宣言します。

1. すべての町民が、スポーツに親しみ、すこやかな心と健康な身体をつくりましょう。
1. スポーツを通して、人と人の結びつきを強め、元気な声がかげあえる地域づくりをしましょう。
1. スポーツ環境を整え、生活に根づいた活動が“いつでも・だれでも”できる町にしましょう。

第2期養老町スポーツ推進計画

令和6年4月

養老町教育委員会事務局 生涯学習課

〒503-1392 岐阜県養老郡養老町高田 798 番地

TEL (0584) 32-5086 FAX (0584) 32-1946